ナチュラルチーズ (カマンベールタイプ)

生産仕様書

「記載例 1

年 月 日

(有)北海道フロマージュ工房

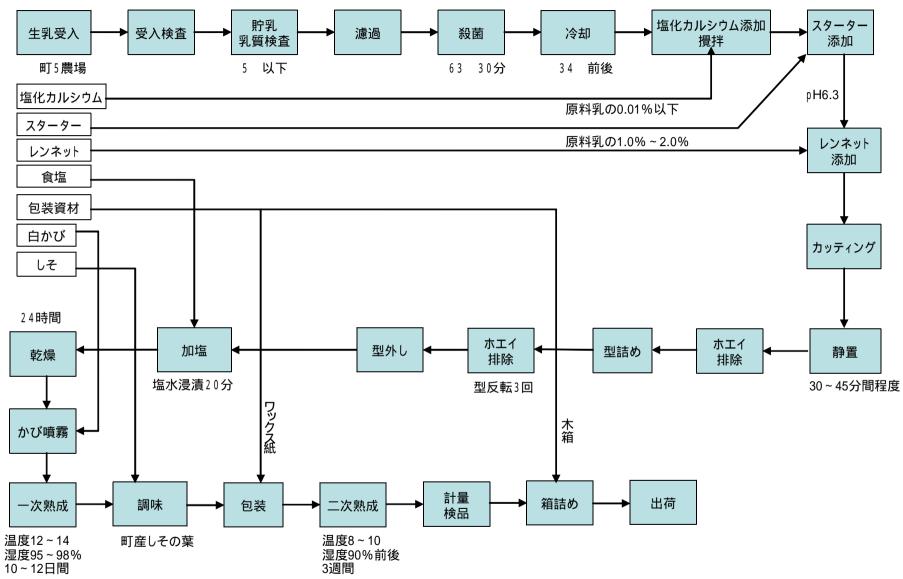
「本仕様書の注意点]

本仕様書は、参考資料として一例を示したものであり、実際にはチーズの種類や事業者個々の品質管理方法等に合わせて専門家や保健所等の指導を適宜受けながら、管理基準の設定や管理録様式の作成及び記録・保管に当たってください。

従って、認証基準に定める項目及び内容を含むものであれば書式等は任意とし、既に何らか の作業マニュアルや記録様式を作成している場合は、そのまま活用することも可能です。

項目	作 業 内 容
1 チーズのタイプ	モールド白かびタイプ (カマンベールタイプ)
2 商品特性	北海道 地方で生産される生乳を使用した白カビモールドタイプチーズの表面に、 町産のシソの葉で特有の風味を付けた製品である。 商品特性の確認方法は、各工程の作業記録簿、帳票類による。
3 製造工程フロー	2ページのとおり
4 施設、機械器具 所在地	北海道 町北3条西6丁目
配置	別添配置図、作業動線図(ゾーニング図)のとおり
施設設備	製造施設、廃棄物保管設備、給水給湯設備、排水設備、便所、更衣所
機械器具	貯乳槽(t) パイプライン濾過器、殺菌機(フォドラ型) チーズバット、モールド(合成樹脂) 熟成室、包装室、冷蔵庫(製品保管庫用 トン) 包装資材・添加物等保管庫、洗浄剤・殺菌剤保管庫、天秤(デジタル式、感度 mg) ステンレス作業台、調理器具(ナイフ・・・) 真空包装機、・・・・
保守点検方法	別表 1 ~ の保守点検基準に従い、日々の洗浄、殺菌を行うとともに、定期的な機械器具の保守点検を行う。
	「別表 「貯乳槽 (ストレージタンク)保守点検基準」 (使用前) ・熱湯ですすぎを行う (使用後) ・40~50 の温水で前すすぎを行う ・ % 洗浄剤で洗浄し、十分に温水ですすぎ洗い ・汚れの目視確認 ・ %アルコールで殺菌消毒 ・取り外した部品の欠損欠落の確認 ・タンクを密閉し、洗浄作業の結果を様式 に記録 (定期保守) ・パッキン類損傷の点検、温度計の校正、タンク内板の損傷点検、ピンホールの有無の点検を月 回の割合で実施 ・点検内容は管理様式 に記録
5 原材料、容器包装 仕入先、原産地 受入検査方法	原料乳は、北海道 地方の生乳を100%使用する。 ・原料乳は、受入ローリーごとに、受入年月日、ローリー番号、集乳路線、受入量、乳温、色調・風味、その他異常の有無を管理様式1に記録する。 ・原料乳の色調や風味に明らかな異常が認められた場合は、速やかにJAに連絡する。

製造工程フロー



項目		作	 業 内	容		
保管方法	・貯乳槽に貯乳した原る。	科乳は、5	以下で保存し	J.,	時間以内に製造	造に使用す
その他原材料 容器包装		品 名 リスタル	規格基準 国産	容量 20kg	業者名	備考
1 111 0 20	塩化カルシウム			zons	化学(株)	
	スターター La		混合 4 種中温乳酸菌		12 T 11 O	
			Mucor syuzi Penicillium		ピエール& co;Ltd.	
			camemberti	101,~	,	
	しての呆		乾燥 2mm 粉 砕	lokg	J A	
	包装紙		ワックス紙		製紙(株)	
	容器・その他原材料及び容		樺材 〉に坐たって!:	+ /1	産業㈱	土(店田)
	・検査証明書(製品規 者の変更があった月 ・受入毎に受入記録年 の有無等を記録棚に ホスターターとの製品 ・スターカーからの製品	きは都度更新 、納入業者、 洗浄剤や殺! 保管する。 市販ヨーグ	fする。 ・メーカー、 虫剤等の薬剤 d ルトを使用する	見格、 こは別 る場合	仕入量、使用類に管理して、では、当該ヨー?	期限、異常 商品名を表 ブルト製造
6 乳質検査	・原料乳の検査項目及					
	<u>項 目 管</u> 乳温 5 「	<u>理基準</u> 以下	検査頻度	1	備	考
		<u>ぬ下</u> のないこと		官能	 负 查	
	細菌数 30 万	ī / ml 以下	製造ロッ	直接個	固体鏡検法	
	抗菌性物質 陰性 比重 1.028	8 ~ 1.034	トごと		−ム法又はスナ ょう式比重計	ツフ法
		<u>5 1.054 </u>			NaOH 中和滴足	注法
	アルコール 反応	を呈しないも	50		- チルアルコー	-ル反応
	体細胞数 30万	页個 / ml 以下	1 1 回	<u>法</u> (补) 北海道酪農村	全定検査
	乳脂肪分 2.8 %	6以上	以上	協会(の合乳・個乳板	
	無脂乳固形分 8.0 % ・検査結果は、管理様	<u>6以上</u> ぎょんに記録で	<u> </u>	を使用	<u>†</u>	
	・検査の結果、異常が やかにJA に連絡	「認められた」		として	使用しないもの	かとし、速
7 製造管理 殺菌	・原料乳は、ろ過器で 菌 時間及び殺菌温度 る。					
冷却	・殺菌終了後の原料乳 ・冷却温度及び冷却ま					令却する。

			NIK			
耳 目 		作 	業 	内	· 容	
塩化カルシウム、 スターター及びレン ネットの添加	・スターター ・原料乳の p ・塩化カルシ	ウムを原料乳の0 を原料乳の1.0% H が6.3程度まで ウム、スタータ の p H を管理様:	~ 2.0%の範 低下した時 一及びレン	囲で添加 f点で、し ネットの	し攪拌する。 _ノ ンネットを添	
カッティング、ホ エー排出	ナイフで賽	添加後、30~45 の目にカッティ) 静置してホエー	ングし、静た	かに攪拌		確認し、カード
型詰め、型外し	・4時間ごとに	後、速やかに力・ 型を反転させ、 所定の形に整形・	16~20時間		-	非出した後、型
加塩、かび噴霧	分間浸漬し ・塩水から取	ーズをトレイにする(チーズの する(チーズの り出し、熟成庫 ーズ表面に白かす	目標塩分濃原 で24時間乾炉	度1.6%)。 燥させる		の食塩水に約20
熟成、しその葉の 添付	・熟成庫内は、 度を測定し ² ・乾燥し2mmと 付着した後、 する。 ・熟成庫内は、	レイに並べ、熟A 温度12~14 管理様式 3 に記 ピッチに裁断した ワックス紙で1 、温度8~10 、 様式 3 に記録する	湿度95~9 録する。 :「しその剪 回装して木紅 湿度90%程	98%程度に ミ」(約3 箱に納め	こ保ち、毎朝庫 g/個)をチー∑ 、熟成庫で3週	ズ表面に均一に 間程度二次熟成
8 最終検査	制具等の検	本け次のとおり	レル 烩本名	姓田 计答	神様式に記録し	、促方する
0 取終快直	現 目	査は次のとおり。 └────────────────────────────────────	こり、快車を ! 基準	紀末は官	理様式に記録し 検査頻度	が休任98。 備 考
	官能検査 ・外 観	次の異常がない 異物、変形、異 亀裂、湿気、し ざらつき、異常	こと 常外皮、異常 その葉の分	離	製造ロットご とに最終製品	m 'v
	・風味	異常発酵臭、ム		お酸味	プリング	
	微生物検査	・塩味・苦味・大腸菌群 大腸菌 黄色ブドウ球菌 サルモネラ属菌 サルステリア菌 大腸菌群 金属探知器 によ	陰性 陰性 i 個/gl i 陰性/25 陰性/25	以下 5g	半製品、最終 製品ともに 1回 / 6ヶ月 全最終製品 全最終製品	(財) 検査 センター ^゚トリフィルム
	水質検査	飲用適であるこ	** '		1回 / 6ヶ月	保健所
	小貝採且	以用心しののこ			1四 / 07 月	不 生

項 目	作 業 内 容
9 製品形態、包装、計量 製品形態 包装、計量	・木箱詰め(120g / 個) ・製品計量後、 個を紙箱に箱詰し、製品出来高を管理様式4記録する。
10 表示	 ・表示は別添の容器包装のとおりとする。 ・原料乳の生産地域(町産)認証マークを表面に表示する。 ・認証マークの印刷は、北海道知事の使用許諾を受けた後に(株)凹凸印刷に発注し、納品を受けるごとに当該数量を管理様式5に記録し、使用の都度、毎回受け払い簿に記録し、在庫管理を行う。 ・容器に不良が発見された商品は、出荷ラインから除去するとともに、受け払い簿にマークの使用ロスとして数量を記録し、当該包装は別途保管する。 ・毎年3月までの認証マークの使用実績を認証機関に対し4月20日までに報告する。
11 廃棄物処理	・廃棄物は、包装工程で発生する破損包材等の燃えないゴミ、紙等の燃えるゴミ、製造工程の生ゴミに分類し、廃棄物保管に分別し、週2回北日本清掃(株)に搬送し、委託処理する。 ・ホエーは、町内の養豚農家へ飼料として販売するほか、専用水槽に排水して曝気した後、固形分を可能な限り回収して排水する。
12 清掃、消毒	・作業前後に工場内の清掃等を行い管理様式6に記入する。
13 不良品及び異常品の 処置	・製造ロットごとに賞味期限までサンプルを保存する。 ・製造中に不良品、品質異常が発生したときは、その原因及び対策を管理様式7に記録し、保管する。 ・消費者よりクレームがあった場合、受信年月日、クレーム者(氏名、住所、電話番号等)クレーム品の情報(品名、規格、賞味期限)クレームの内容、対応者、対応方法、対応完了年月日を記録し保管する。 ・クレーム内容から回収措置が必要と判断される場合は、 を回収責任者として速やかに取引先に連絡し、製品の回収を行うとともに、 保健所、認証機関、北海道にその内容を報告する。
14 管理記録の作成及び 保存	・各工程で記録する様式、記録責任者は別添のとおりとする。
15 作業員の衛生管理及 び教育訓練 健康管理 衛生管理	 作業員は年1回健康診断及び検便を受け、作業に支障がないことを確認する。 作業前に食中毒の原因となる疾患(腹痛、手の化膿等)がないか確認し、管理様式8に記録する。 定められた着衣(白衣、ズボン、ネット、帽子、長靴等)に着替え、これら作業衣類は常に清潔に保つ。 作業に必要のないアクセサリー類、腕時計等はあらかじめはずして入室する。
	・工場内では飲食は行わない。 ・作業前、トイレ使用後は手指の洗浄、消毒を十分に行う。
教育訓練	・年1回、HACCPによる衛生管理の研修を外部講師を招き実施し、受講者名等を 記録する。

原材料仕入記録簿(原料乳)

確認者	記帳者	
-----	-----	--

年月日	ローリーNo.	集乳路線	受入量	乳温	色調·風味	その他異常	措	置	確認印

原材料仕入記録簿(その他原材料、容器包装)

確認者	記帳者	
-----	-----	--

年月日	納入業者	製造メーカー 規格・製造ロット	数量	規格書	使用期限	目視異常	措	置	保存方法	確認印

温度管理記録簿

確認者	
-----	--

日時	熟成/	車 (一	-次熟成)	熟成庫 (二次熟成)				工場内			
月日	測定時刻	温度	湿度	測定者	測定時刻	温度	湿度	測定者	測定時刻	温度	湿度	測定者
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%				%	
	:		%		:		%				%	
	:		%				%				%	
	:		%		:		%				%	
	:		%				%				%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	
	:		%		:		%		:		%	

製造加工作業記録簿

確認者		記録者	
-----	--	-----	--

製	品	名												
製i	造年月	日	•	年	Ħ	日		ロット	No.					
E	N/N	13	使用重量	産	地		品 種	異常	異	常内	內容、	措置		確認者
原	料	乳	kg					有・無						
			乳温					有・無						
			色調・風味					有・無						
			細菌数	毎製造			/ml	有・無						
			抗菌性物質	ロット				有・無						
乳		質	比重				0/	有・無						
			酸度 アルコール				%	有・無有・無						
			<u>アルコール</u> 体細胞数				個/ml	有・無						
			乳脂肪分	旬 間			<u> </u>	有・無						
			無脂乳固形分	1 🗓			%	有・無						
				刻	添加量	i i	温度・pH		異	常内	内容、	措置		確認者
3		過	: ~	:		-	-	有・無						
殺		菌	: ~	:		-		有・無						
冷		却	~	:		-		有・無						
塩化	'とカルシウ	ነ <mark>ረ</mark>	:			g	-	有・無						
ス:	タータ	'—	:			g	-	有・無						
レ	ンネッ	<u> </u>	:			g	pH=	有・無						
塩		漬	: ~	:		%		有・無						
白7	かび噴	霧	月	日		-	-	有・無						
<i>ن</i> ا	そ葉添	付	月	日		g	-	有・無						
_	次 熟	成	月 日~	月日		-	-	有・無						
	次 熟	成	月 日~	月日		-	-	有・無			1			
	X	分	検査項目	ロット			は検査結果			日	異常	内容、	措置	確認者
			外観	製造口	検査個数			有・無	月	日				
最	官	能	テクスチャー	製造ロットご と	検査個数	数	個	有・無	月	日				
			風味		検査個数	数	個	有・無	月	日				
終	異	物	金属探知機	全製品			有・無	月	日					
検			大腸菌群		半製品・製品		個/g	有・無	月	日				
1.			大腸菌	半製品製品	半製品・製品		個/g	有・無	月	日				
查	微生	物	黄色ブドウ球菌	1回/6ヶ月	半製品・製品		個/g	有・無	月	日				
			サルモネラ菌	'Η' V/Π	半製品・製品		個 / 25g	有・無	月	日				
			リステリア菌		半製品・製品		個 / 25g	有・無	月	日				
製品	品出来	高		個			kg	有・無	月	日				

認証マーク受払簿

確認者	記帳者	
-----	-----	--

年日日	フェカ妥)粉具		使	用	数	量		7-t. *tr	Z.O.(H)
年月日	マーク受入数量	製	品			П	ス	— 残 数	その他

注:印刷業者から認証マークを受領した場合は、認証機関に受領 年月日及び数量を報告のこと。

清掃記録簿

確認者		記帳者	
-----	--	-----	--

年月日		年	月	日								
			前	洗净			後 洗 浄					
	进海	¥	设菌方法	去	n±88	+n \\ +v	, y	殺菌方法		n+ 88	+0.1/ +/	
	洗浄	蒸気	煮沸	塩素	時間	担当者	洗浄	蒸気	煮沸	塩素	時間	担当者
床												
貯乳槽												
ろ過器												
殺菌機												
チーズバット												
モールド												
ライン (ホース類)												
その他道具類												

不良品・異常品管理記録簿

検証者	確認者	記帳者	
			İ

発信 者	所属: 氏名: 住所: 電話・fax・E-mail:								
食品情報	商品名: 規 賞味期限: 不良、異常の内容:	1格:	ロット:						
対 応 者									
対応方法	原 因: 改善措置: 回収状況: 通 報:								
完了年月日									
その他									

衛生管理記録簿

確認者	記帳者	

年月日		年 月	日			
作業者氏名	健康状態	手指の化膿巣	1	作業衣等	手指洗浄	その他
そ の 他						

その他管理様式は省略